

本庄市
地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定のためのボランティア団体
アンケート
結果報告書

令和5年3月

本庄市・本庄市社会福祉協議会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要.....	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法.....	1
	(3) 配布数及び回収結果.....	1
2	本調査報告書の基本的な事項.....	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	1
II	調査結果	2
1	回答者について.....	2
	(1) 回答した事業所.....	2
2	地域での活動について.....	3
	(1) 活動する上で意識していること.....	3
	(2) 活動している地域の様子.....	6
	(3) 地域の困りごとを解決するために必要なこと.....	9
	(4) 連携・協力団体.....	12
	(5) 現在の活動における課題.....	15
3	協働について.....	20
	(1) 住民と行政の協働意識.....	20
	(2) 住民と行政の協働に必要なこと.....	21
	(3) 協働において行政に期待する役割.....	22
	(4) 市が力を入れるべき取り組み.....	23
	(5) 自由意見	24

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたり、ボランティア団体の活動状況や課題等を把握し、計画の基礎資料とすることを目的に実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	本庄市内のボランティア団体
配布数	65
抽出法	全数抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	令和4年12月
調査地域	本庄市全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	65
有効回収数	48
有効回収率	73.8%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

Ⅱ 調査結果

1 回答者について

(1) 回答した事業所

問1 貴団体の名称、連絡先について教えてください。

48団体より回答があった。

2 地域での活動について

(1) 活動する上で意識していること

問2 あなた（貴団体）が、地域で活動をする上で意識していること（活動する上で心掛けていること・活動に対する思いなど）は何ですか。

寄せられた回答は以下のとおり。

図表 活動する上で意識していること

No.	回答
1	個人の尊厳を大切に子ども達の健全育成をモットーに活動しています。
2	傾聴活動、気持ちに寄り添って話を聴く。高齢者や高齢世帯を孤立させない。
3	子ども達と明るく元気よくつきあい、皆と子ども事故などにあわぬように心掛けています。
4	素人のサックス演奏を楽しんでいる爺さんメンバー5人です。サロンや介護施設で演奏して、皆が楽しい時間を過ごしてもらうことが目的です。
5	仲間を大切にできるだけ長く続けていきたいです。
6	どのように活動すれば喜んでいただけるか、常に意識しています。
7	ふれあい、支え合い、思いやりのある地域活動を心掛けています。そして、DX 社会の推進を進めたいと思っています。
8	奉仕の機会、役立つことすべて価値あるものと認識し、職業の知識、スキルを積極的に役立てる。
9	活動への理解を深めていただけるように心掛ける。
10	もう少し人数が増えたら良いと思う。
11	-
12	点字を通して、視覚障害者の情報保障や点字の普及に努めること。
13	訪問施設の方々の喜ぶ顔がとてもうれしいです。
14	自分達の住んでいる所、目の前にあることをできる限りのことを成したいと思います。
15	絵手紙なので楽しんで見てもらえるように季節、行事などを考えて書いている。
16	活動の内容は特になく何でもやれることから活動させてもらっていましたが、コロナのため現在は休止状態となっています。
17	「私達の健康は私達の手で」のスローガンの元、食べることは、生きる上で基本となる部分です。減塩など、昔から続けている活動を新たな視点で見直し、現在にあった活動をしていくことが大切だと思います。
18	日本古来の「伝統芸能」である「南京玉すだれ」の普及・技術の向上を図るとともに伝統を守りながら新しいものにチャレンジすること。
19	自分達が楽しむこと、そして、温かい雰囲気ですぐに優しく接すること。
20	ボランティアサービスにてお年寄りが元気にきれいになり美意識を感じてほしい。また、衛生面に気を配りながら接しております。
21	演奏活動を通して、地域の人々とのふれあいを大切にしている。
22	目立つことなく、地域の日常生活の中にあたりまえのように溶け込む活動をしていきたい。

No.	回答
23	視覚障害をお持ちの方にも晴眼者と同じ情報をお届けできる様、毎月「広報ほんじょう」を点訳している。また、小中学生の福祉の授業の一環として依頼があれば点字指導に出向き点字について子ども達に興味と理解を深めてもらう様、努めている。
24	高齢者世帯、高齢単身世帯で日常生活に不便を来している地域内世帯を対象にしている。日常生活上のお手伝いをすると、お礼の気持ちで本人に気を使わせてしまうので、低額料金をいただいている。(気がねなく、依頼できるように。)
25	<input type="checkbox"/> お互いが助け合う。できることをできる人がする。 <input type="checkbox"/> ノーマライゼーションを目的とする。
26	スローガンは下記のとおりです。 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの多様性が尊重され、互いに慈しむ心で支え合う社会。 <input type="checkbox"/> 若い人が子どもを皆で育て、大切にし、夢と希望のあふれる社会。 <input type="checkbox"/> 争いがなく、他人を思いやり、安心して心豊かに暮せる社会。 <input type="checkbox"/> 誰もが、笑顔であいさつでき、思いやりとコミュニケーションが活発な社会。 <input type="checkbox"/> 地球環境の保護と日本の文化が大切にされる社会。
27	コロナ禍が少しやわらぎ？活動の方をしていこうと思います。地域の方、または会員の方々の活動することにより、楽しくやっていけることが良いと思います。
28	こども食堂ですが、近隣のひとり暮らしのお年寄りなども声かけして来ています。子どももお年寄りも孤立しないように見守り合えたらと思い食事を提供しています。
29	仲間を増やす。
30	楽しくて、他人のためにも、自分のためにもなる活動。
31	先様の性別、健康状態(自分のことが自分でできるか、否か)失礼にならないような言葉使い等、わからないなりに気を付けています。また、同じ気持ちで取り組んでいる仲間との会話にも感心を持ち、良い結果ではないかと思っています。
32	地域とのつながりを大切に。できる限り長く継続できるようにしたい。
33	手話を広めたい、職員、ボランティア、市民 働く人のみんなが、手話を学ぶ。
34	子育てしている中で、誰かに話を聞いてほしいという人や誰に相談したら良いのかわからない…そんな人達に寄り添い行政につなげる役割と考え行動しています。
35	老人ホームへの訪問活動ではお年寄り達には大切な時間です。1回1回楽しく笑顔になれる様努力しています。児童養護施設では犬を通して優しさや、思いやりなどを伝えています。
36	できるだけみんなが参加しやすいイベント等を考えて関わる人を増やすことを意識している。
37	コロナ禍で活動ができませんでしたが、人々の幸せを願い奉仕するという赤十字の信条を多くの人に伝えたいと思っています。
38	将来を担う子ども達が、野菜を食べる習慣を身に付けていただくために、美味しい「つまっこ」の啓蒙活動を行っています。
39	<input type="checkbox"/> 会の認知度を高めること。 <input type="checkbox"/> 会の活動に対する理解者・協力者を増やすこと。
40	音訳ボランティアという視覚障害者宛に、広報等を音訳し、録音編集に CD を作成し、郵送することを主な活動としていることから、耳だけで聴いてわかってもらえる読みをするために種々工夫をし、より良い読みの向上を目指して会員の勉強会を行っています。

No.	回答
41	<p>活動内容:介護をする方の不安や悩みの相談は相談者に寄り添いながら行う。介護者のストレスや悩みが共有できる場「けあふれんどカフェ」の開催。楽しく遊びながら脳活性化サロン開催。年1回開催の市民講座。介護予防出前講座「シナプソロジー」担当ほか。そのための3つの柱(支え・学び・協力)</p> <p><input type="checkbox"/>高齢者や介護に関わる人たちの交流の場…心のケア。</p> <p><input type="checkbox"/>皆で学ぶ場。ミニ講座、講演会を開催…知ること。</p> <p><input type="checkbox"/>各機関や他団体、グループとの連携、交流を図る…協力。</p>
42	<p>この地域に根差して活動を行うということ。なるべく、行政や企業、地元住民など様々な人たちを巻き込んで活動を行うということ。</p>
43	<p>学生が主体となり事業をつくることで今後、社会に出た時の糧になる経験を積ませること。子ども達の思い出に残るイベントを開催し、地域愛醸成を図り、将来の定住につなげること。</p>
44	<p>子ども達の現状は基本的な生活習慣の欠如、人間関係の希薄化、コミュニケーション能力の欠如、体験活動の減少などが見られる。そこで、本活動では、親子での活動を行うことにより体験を共有し、コミュニケーション能力を高め、親子でのより良い関係に高めていくことを望んでいる。</p>
45	<p>今日、少子高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の姿が大きく変化する中、社会的孤立や生活困窮、子どもの貧困、児童虐待の増加など、地域住民の抱える課題も、複雑かつ多様化しています。このような中、民生委員・児童員は、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役として、活動を心掛けている。</p>
46	<p>「手話」を通して、当事者団体(本庄市児玉郡広域聴覚障害者福祉協会)と連携し、聴覚障害者に関わる問題や手話の普及に努めること。</p>
47	<p>施設等に舞踏で慰問という活動です。笑って楽しんでもらい大きな拍手をしてもらいます。元気になってもらえることを心掛けています。</p>
48	<p>会員が50名くらいいるのですが、年齢とともに参加が億劫(実習や講座に参加することが)になってくるので、全体を気にしながら皆さんに時々声をかけて全会員の皆さんが同じように楽しんで活動できるようにしています。</p>

(2) 活動している地域の様子

問3 活動している地域の様子について教えてください。特に、困りごとを抱えた人がいる場合は、わかっている状況について、詳しく教えてください。

寄せられた回答は以下のとおり。

図表 活動している地域の様子

No.	回答
1	学童保育所、保育園、従前コロナになる前に老人デイサービスと宿泊老人施設にも行っておりまして。
2	民生委員さんやケア・マネージャーさんからの紹介が中心なので、情報共有ができている人が多く、認知症で困っている人が多いです。
3	ある1家族で低学年生2人を抱えておられるお母さんが、登校の準備ができておらず、ボランティア員が訪問にて声かけしていますが、時に間に合わず車にて登校状態です。
4	皆さん楽しんでもらっています。困りごと等については、今迄聞いていません。
5	-
6	(新型コロナの影響で今はほとんど活動していませんが)主に介護施設のライヴが多いのですが、利用者は涙を流して喜んでいただける方も多くいます。
7	地域ネコ活動の取り組み、児童登下校ボランティアのなりて、ゴミ収集所への不法投棄など。
8	ひとり暮らしの高齢者が増えてきている。障害を持ちながら社会生活を営んでいる。
9	活動場所への交通手段。
10	-
11	-
12	道徳顕彰会の会報誌を定期的に点訳させていただいています。個人的に依頼があった場合は、その都度対応させていただきます。
13	今はコロナで活動していません。
14	今は西小に近い宮本町の自治会館を使わせていただき、子どもや寂しく食事をする方々に地域食堂、フードバンクをしています。
15	社会福祉協議会を通して独居高齢者に送っている。
16	-
17	保健センターを使用しているので今の場所に移ってからは、利用しやすくなりました。マイカーのない方もいらっしゃるんですが、歩いたり、自転車で来られるので、特に困ってはいません。独居高齢者も、元気に参加されています。
18	交流がないのでわかりません。
19	私達の活動に参加される方は、それ程困りごとや悩みを抱えている様子はありません。
20	障害や、お年寄りが多いため、スタッフが必要と思っている。
21	演奏活動依頼がある地域は、それなりに自治会と色々な行事等に、活発な様子が伺える。
22	まちなかで居場所「まちあい館」を運営していますが、周辺は寂しくなるばかり、人との会話の中で明るい話題が少ない。
23	-

No.	回答
24	高齢化により、家庭内外の片付け等に困っている世帯が多い。(屋敷内の除草、片付け、スーパー等への買い物で自由に行動できない等)。
25	特定の困っている人を目的として活動してはいないです。依頼によりその都度活動して来ましたが現状は会員の要請により子ども食堂の補助をしています。
26	お年寄りが歩行車にゴミ袋を乗せてゴミ出しをしている。困っている様子。
27	困りごととは特にありませんが、出演要請があればどこでも活動させていただきたいと思います。
28	困っている家庭があるのでしょけれど情報が伝えられないことに悩んでいます。
29	□北泉公民館をベースにしている。2回／年そば打ち教室実施。 □第2・第4週の月曜 10 時～12 時が定例、平日のため、高齢者が多い。
30	表面上は、安定して問題ないように見えるが、その実、色々な課題を抱えている人はいるはず。
31	団体活動の中ではよくわかりませんが、身近な人の困りごとを察した時には積極的に本庄市の部署を紹介して、電話番号をお知らせし、結果を聞くようにしています。
32	このようなサロンが近くに見当たらないので、もしあれば交流などできるか、と思う。支援が必要な人に、必要な支援が届くのは中々難しいと感じている。
33	□ろう者の集まる場所がないので行政より用意してほしい。 □情報がないと困り、情報交換場が欲しい。
34	困りごとを抱えている人は中々表に出てこない…サロンや日頃色々の場面で積極的に話しかけながら信頼の輪を広げようとしています。
35	不登校のサポートを 10 年以上やっていますが、学校とのコミュニケーションが取れないことと、現状不登校のお子さんを抱えている親達にこの活動が知らせてあげられないことが悩みです。
36	児童養護施設の子どもの退所後、頼る場所がないこと。
37	私達の団体は、地域福祉のための募金活動や、災害時の炊き出しや救急法の講習等を主な活動にしています。個人の困りごととは活動の対象にはなっていないので、状況の把握はしていません。
38	親子料理教室で美味しい「つまっこ」を食べていただくととても喜んでいきます。
39	-
40	弊会はリスナーさん(視覚障害者)の情報を市役所障害福祉課より委託を受けて活動しているため、地域の様子及び困りごとを抱えている方の情報は持っていません。
41	けあふれんどカフェ(ケアラズカフェ)に関しては、周知が行き届いていないために参加者が少ない。コロナ禍で電話での対応が数件ありました。ケアラーのほとんどの方が家族や兄弟・友人などにも悩みや困りごとがしゃべれない、知られたくないなどから、一人で抱え込んでいる方が多い。特に寝たきりや認知症の方の在宅介護をするケアラーは自分の経験からも大変なのが十分わかります。ひたすら話を聞いて、ほんの少しでも心を軽くできたらとの思いで対応しています。
42	放置竹林の整備について、方法がわからなかったり、資金や高齢化などの問題で整備が行えない人が多数いる。
43	子育て世代の保護者同士のつながりが希薄であり、つながりを持てる環境少ない。他地域から越してきた方などは、子どもが保育園に入るまで友達ができない。また、保育園に預けたとしてもコロナ禍で話す機会がない。

No.	回答
44	活動内容は、施設訪問研修、こども自然体験(自然観察)、子ども座禅会、子ども絵画教室、夏休み料理教室、中仙道ウォーキング、おひな様お茶会等の活動を行ってきました。本活動で困っていることは、活動者の高齢化で若い人の会員入会を希望している。
45	人口減少の波は、多くの地域社会で社会経済の担い手の減少を招き、それを背景に、耕作放棄地や、空き家など、様々な課題が顕在化しています。事例1 高齢者(女性)一人、年金だけの生活、耕作地の雑草を刈りたいが資金がない、誰かやってくれないかとの相談。市の農政課に連絡、業者、シルバーセンターへの連絡を紹介される。業者、シルバーセンターでの請求額ではできない。誰か、ボランティアでやってもらえないか。地域でのボランティア団体を組織する必要があるが、包括的な組織での検討が必要になっている。事例2 市街地の空き家で草木が生い茂り冬場は枯れ葉などで火災が心配される。市の都市計画課に連絡、現地調査し持ち主に連絡するとの回答があるが今は回答待ちである。
46	<p>当事者団体や関係団体、手話通訳者派遣事務所とつながりのない聴覚障害者が本人に必要な支援や行政サービスを受けるための情報が得られているか懸念しています。他者とのコミュニケーションが取れず、身近な情報も得ることができない。そのため、限られた情報の中で物事を判断せざるを得ない方がいると思います。</p> <p><input type="checkbox"/>給付金、個人番号の申請、検診のお知らせ等、行政機関から送られてきた書類の内容が理解できず、申請していない。</p> <p><input type="checkbox"/>高齢になり、介護が必要な家族がいる(または自分自身)。どこに相談をしたら良いのか。制度自体がわからない。</p> <p><input type="checkbox"/>催し物や説明会、書類の申請等の問い合わせ先に電話番号やメールアドレスが記載されているが、高齢聴覚障害者はいずれも使うことができず、あきらめた。等のようなケースが起こっている可能性があります。</p>
47	コロナで今年1回昨年1回だけでした。
48	会員の方は女性ばかりです。皆さん家庭や健康のことなど色々悩むこともあると思いますが、実習や講座に積極的に参加されるし、休んでいる方も困りごとを抱えた方は見受けられません。

(3) 地域の困りごとを解決するために必要なこと

問4 地域の困りごとを解決するために、必要なことや現在不足していると思うことは何だと思いますか。

寄せられた回答は以下のとおり。

図表 地域の困りごとを解決するために必要なこと

No.	回答
1	-
2	病院への通院や、買い物など同行支援。車に乗せての移動。
3	大人の心構えと前向きな姿勢が足りないのだと思いますが。
4	選任者からの指示等あれば、協力できると思います。
5	-
6	-
7	意見の次に行動である(口だけで行動・協調性が不足)。
8	コロナの影響もあって、困りごとの解決策が個々に立ち入ることができなくなっている。
9	-
10	-
11	-
12	今現在はありません。
13	行政については問題を提案しても、解決してもらえないです。
14	ボランティアさんが高齢化してしまい、ボランティアさんが(人手が)不足しています。
15	-
16	-
17	どのような活動であっても、一番の問題は通う手段でしょう。公共交通機関は、ハニポン号だけです。外に気楽に出られるように、足の確保は重要です。
18	-
19	外へ出て来る方は、つながりがあると思うので、コミュニティの中で解決するのではないかと思います。外へ出ない人がどれだけの悩みや困りごとを抱えているか把握するのが不足している気がします。
20	マンネリ化した敬老会のもよおしをなんとかしたい。
21	行政と、自治体役員との情報交換が欠如しているように感じられる。特に、コミュニケーションが取れる、サロンを立ち上げられない自治体役員が多い(児玉地域)。役所と社協が役員を招集して推進したらどうでしょうか？
22	歩いて生活のできる「トホクラシ」そして共に助け合う「トモグラシ」を提唱して活動していますが、この地域における将来に向けての具現化できるビジョンがないのが残念です。
23	-
24	当面は、支援する体制の構築、移動スーパーや買い物支援等、地域や身近な隣人等の協力が必要。
25	情報の把握でしょうか。信頼の構築も大切だと思います。

No.	回答
26	行政としてこんな街づくりをしたいという目標も含めて、住民に説明、協力要請が必要。
27	-
28	子ども達へ、かるがものこと(情報)の伝え方が難しいです。お年寄りも広がり来ています。
29	困っている人がわからない。
30	地域での課題を気軽に発信し、上につなげるシステム。自治会などで定期的に色々な場で話し合う。とりとめない話し合いをする、それでも良い。
31	私の活動範囲内では、悩みや困った時の相談ができるのですが、動けなくなり、外に出られない人は冬外に出られなくなった時は一人寂しく閉じこもるしかないのか、その辺のことはまだ勉強が足りないのだが？
32	若い人たちの(20代~40代くらい)使える資源を増やしていくこと、その団体同志で連絡協議会などを持ち、情報交換をすること。高齢者のサロンがたくさんできたように若者に関して団体が増えてほしい。
33	<input type="checkbox"/> 聞こえない人 文章苦手だから手話は必要。 <input type="checkbox"/> 相談をできる場がない。
34	”地域の困りごと”という大きな枠での質問にはどう答えて良いかわかりませんが、現在ダイアパレスでサロンを開いています、お年寄りだけでなく子育て中の方も見えます。皆さん誰かとつながりたいと思っています。
35	学校と地域のコミュニケーションをとりあう必要があると考えます。
36	(本庄市は農家さんが多いので)野菜の収穫も多く、加工場がないため、規格外野菜が有効に利用されない。加工場の設置。
37	地域の人たちの助け合い。コミュニティの結びつきが不足している。
38	ボランティアを行う人が少なくなってきたことです。
39	-
40	-
41	悩みや困りごとを聞いて受け止める「ケアラズカフェ」のような場があることを周知させるために、ボランティアの団体だけでは広めきれないので、広報などで定期的に知らせたいと思います。高齢者でしたら、地域包括支援センターや在宅・居宅介護事業者のケアマネさんはケアする人される人に一番近い資格のある方達なので、ケアしている方で悩んでいそうな方に出会ったら、同じ悩みを持つ人たちのおしゃべりの場があることを周知させていただきたいと思います。
42	学生団体として活動を行っているということもあり、資金や必要な物品がまだまだ不足している状態となっている。それらの調達や活動での連携も含めて企業との連携を進めたいと考えているが仲介者となってくれる所が欲しい。
43	思いやり。ボランティアを行う方の活動に対する意識。※近年では有償ボランティアも多く、ボランティアの定義が変わってきている。お金。
44	地域の困りごとを読み替えて本会の活動の難しさについて。現在の子どもの現状は上記で述べました。子ども達が生活体験、自然体験、社会体験を行う環境を整備していかなければならないと考えています。この取り組みには1団体の取り組みでは限界があります。特に自然体験の環境整備については、行政としての取り組みを希望します(仮称:子どもの体験プロジェクト)。

No.	回答
45	包括的な支援体制の整備が必要になってくる。
46	<p><input type="checkbox"/>介護保険の制度や行政サービス等、行政側から情報を発信する取り組みが必要だと思います(一般的にわかりやすいものではなく、当事者にとってわかりやすいもの)。そのためには、実態把握や情報収集も必要になってくると思います。それにより、別の課題が見えてくる可能性もあると思います。</p> <p><input type="checkbox"/>メールや電話リレーサービスなど、聴覚障害者が利用できるコミュニケーションツールは増えてつつありますが、ご高齢の方をはじめファックスを使用する方もいます。問い合わせ等の窓口はファックスでのご対応もお願いします。</p>
47	-
48	民生委員の方など担当の区域を色々まめに回っていると思いますが、高齢者に限らず近所の方も周りを意識して大変そうの方がいたら声をかけてあげられたら良いのではと思います。

(4) 連携・協力団体

問5 活動を行う上で、連携・協力している団体・機関はありますか。また、今後連携・協力したい団体・機関はありますか。(具体的に記入)

寄せられた回答は以下のとおり。

図表 連携・協力団体

No.	既に連携・協力している団体等	今後連携・協力したい団体等
1	<input type="checkbox"/> 特定非営利法人思いをつなぐ会 <input type="checkbox"/> NPO 法人ホワイトベル(共に高崎市の団体です)。	左に同じです。
2	社会福祉協議会。	-
3	民生委員さん達と話合ったりします。	-
4	ボランティアでオカリナ演奏する人と、イベントを計画し実行できました。	-
5	-	-
6	各地の自治会、介護施設。	-
7	社会福祉協議会。	-
8	本庄商工会議所親会。本庄商工会議所青年部。	本庄ロータリークラブ。
9	本庄市レクリエーション協会。	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	社会福祉協議会。	-
14	<input type="checkbox"/> サラ本庄。 <input type="checkbox"/> (-社)ライフネット五十子。 <input type="checkbox"/> かるがも。 <input type="checkbox"/> ひだまり家族の会。 <input type="checkbox"/> 福祉の店太陽。	えん(あおぞら食堂)。
15	社会福祉協議会。	高齢者施設。
16	社会福祉協議会。	どこでも。
17	保健センター。	-
18	-	施設慰問・老人会・子供会等の参加時、連携・協力できる団体が欲しい。
19	-	-
20	自治体活動にて婦人会様のお手伝いをお願いしたい。	-
21	本庄、児玉地域ボランティア連絡協議会。	-
22	本庄市社会福祉協議会。	-
23	-	-

No.	既に連携・協力している団体等	今後連携・協力したい団体等
24	自治会、民生委員、社協。	他地域との連携、協力、協同のために、左記団体等。
25	□アドナイ・イルエ青い鳥。 □太陽。 □ライフネット五十子。	-
26	熊谷明るい社会づくりの会、加須市明るい社会づくりの会、大宮明るい社会づくりの会。	本庄市社協のボラ連に参加している団体。
27	特にありませんが、市からの要請や地域の祭りなどの参加も協力したいと思います。	早くコロナ感染が、少なくなることを希望します。
28	社会福祉協議会。	-
29	-	-
30	アドナイ・イルエ青い鳥、福祉の店太陽。	社会福祉協議会、(一社)ライフネット五十子。
31	-	不明。
32	行政(市・県)、福祉施設・団体、医療機関、教育機関。	左記団体とより密に必要なに応じて連携したい。
33	(一社)埼玉県聴覚障害者協会、本庄市児玉郡広域手話通訳問題研究会、埼玉県手話通訳問題研究会、本庄市児玉郡広域手話サークル連絡協議会、(福)本庄市社会福祉協議会(手話通訳者派遣事業)。	-
34	子育て応援団、本庄びすけっと、本庄市親の学習推進委員会、筋力トレーニングいきいきサロン(ダイアパレス)。	-
35	社会福祉協議会。	-
36	埼玉県北部地域振興センター本庄事務所、本庄市社会福祉協議会、ま・るーく NPO 法人、桑梓(児童養護施設)。	JA 農協。
37	-	特にないけれど、民生委員の方々が関心を持っていたいただければありがたい。
38	NPO 法人チームF、本庄市赤十字奉仕団。	-
39	本庄市社会を明るくする運動推進委員会、児玉地区保護司会児玉支部、埼玉県更生保護女性連盟、本庄市児玉町内の各自治会(一部を除く)。	本庄市民生・児童委員協議会、本庄市自治会連合会。
40	市役所障害福祉課、社会福祉協議会。	同じ活動をしている、他の市町村の団体と情報交換をしてみたいです。
41	介護保険課、社会福祉協会、4地域包括支援センター、地域福祉課、さくまさんち、認知症家族の会、失語症家族の会。	障害のある家族をケアしている人達の集まる団体との交流。

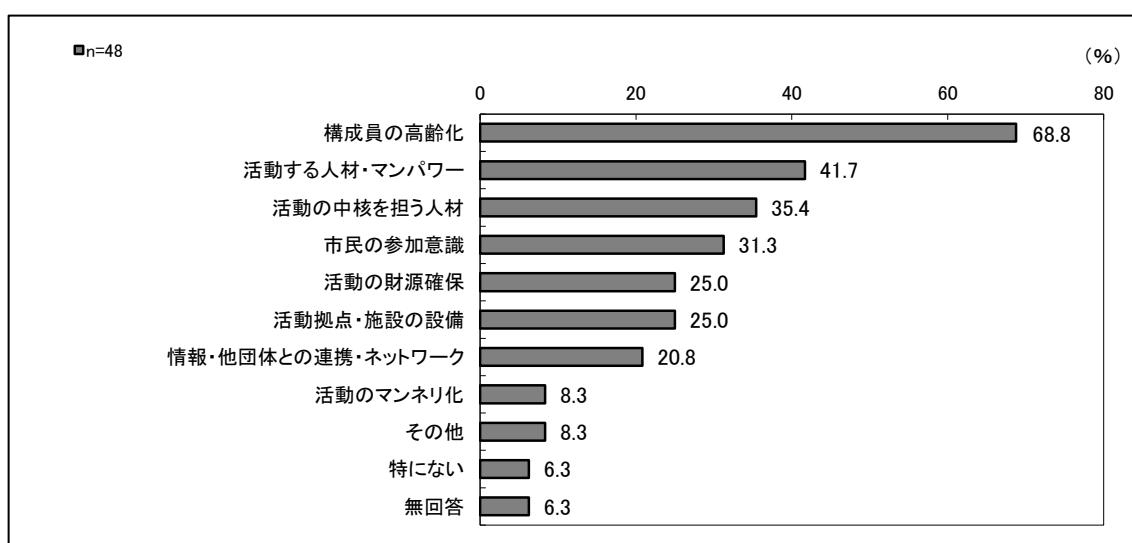
No.	既に連携・協力している団体等	今後連携・協力したい団体等
42	早稲田大学ボランティアセンター、早稲田大学本庄高等学院、橙子猫。	カインズ、マキタ、スリーエム。
43	早稲田大学 BAM 部。	-
44	行政(教育委員会)、公民館、埼玉県立川の博物館、埼玉県立自然の博物館。	行政(都市計画課)。
45	行政(地域福祉課・都市計画課)、社会福祉協議会、地域包括支援センター、警察署、消防署。	行政(危機管理課・子育て支援課)、本庄保険センター、本庄保健所。
46	埼玉県手話通訳問題研究会、(一社)埼玉県聴覚障害者協会、本庄市児玉郡広域聴覚障害者福祉協会、本庄市児玉郡広域手話サークル連絡協議会、(福)本庄市社会福祉協議会(手話通訳者派遣事業)。	-
47	施設長、民生委員、社会福祉協議会等。	-
48	本庄市保健センター、本庄市社会福祉協議会	-

(5) 現在の活動における課題

問6 現在の活動で課題となっていることは何ですか。また、今後、活動を進めていく上で課題となっていることについても教えてください。【複数回答】

現在の活動における課題については、「構成員の高齢化」(68.8%)が最も多く、次いで「活動する人材・マンパワー」(41.7%)、「活動の中核を担う人材」(35.4%)、「市民の参加意識」(31.3%)、「活動の財源確保」・「活動拠点・施設の設備」(同率 25.0%)、「情報・他団体との連携・ネットワーク」(20.8%)、「活動のマンネリ化」・「その他」(同率 8.3%)となっている。なお、「特にない」は 6.3%となっている。

図表 現在の活動における課題（全体／複数回答）



図表 自由回答（その他）

- 点訳広報の活用法。
- コロナ。
- 情報の伝え方。
- 周知の方法。

自由記載欄に寄せられた回答は以下のとおり。

図表 現在の活動における課題

No.	回答
1	特定非営利活動法人ははずしました。現在女子5名男子2名にて活動中です。
2	自分の車を使っでの移動、駐車スペースの確保。遠距離(車で1時間以上)の活動、ガソリン代自己負担。
3	-
4	メンバー5人の練習が全員揃わないことが多々ある。演奏日に欠員が出る。
5	人数が4名しかいないのであと数名増えればいいと思います。
6	メンバーがお互いに仕事を持っているので、スケジュールの調整がいつも課題となっています。
7	これまで取り組んだテーマや計画した事項について、いかに実行性を上げていくことと思います。
8	□団体の中で中核を担う役員のなり手がいない。 □歴史ある団体は、時代のニーズに合った活動を進める上で先輩の方々との連携が難しい。
9	-
10	-
11	-
12	活動の場と機材の保管場所代でほぼ無くなってしまうので、継続が難しくなっています。ロッカー代、部屋代の経費計上の再検討をお願いしたい。
13	-
14	-
15	コロナのため施設等への訪問ができないこと。
16	-
17	30年以上続いている食改ですが、活動内容を知っている方が少ないように思います。外部に向けて、日頃の活動を発信することが必要です。主な活動である調理実習が、コロナのため、制限されていますが、できることをできる範囲で行い、一人でも多くの人に、私達の活動を知ってもらいたいです。
18	高齢化に伴い、視力・足腰の衰えのため集合送迎が困難。
19	会の運営を担う方が不足し、コロナ禍もあってメンバーを増やす講座等もないので、今後、会の運営が難しくなってくる。
20	上記の介にて。
21	私は現在73歳、女性3人も70歳年齢に近く、体力的にも問題がある。
22	主に正会員、賛助会員の会費で運営をしていますが、今年20年目を迎え、会員の高齢化とともに減員減収で運営が厳しい状態が続いています。

No.	回答
23	現在、点訳した広報は毎月図書館にて閲覧できるようになっていますが、その認知度活用度はかなり低いものと感じています。市の職員の方の中でも広報が毎月点訳されていることをご存知ない方もかなりいらっしゃる様です。一方、音訳 CD の管理は福祉課が行っていると伺いました。視覚障害をお持ちの方々への市からの情報共有手段の一つとして我々の点訳作業が活用されていないのであれば、今後の活動内容について会員内で話し合いたいと考えています。(現在構成員4名で毎月、膨大な頁数を各人が点訳しています。)
24	ボランティア活動への参加者(具体的に活動できる人材)が少ない。ボランティア活動の内容の広報不足。
25	□コロナ感染拡大によりコミュニケーションが取りにくい。 □労力ネットワークは会員を中心とする相互の生活支援が主体です。コロナ感染拡大で活動は難しいです。
26	□活動を支える事務局のメンバーが高齢化してきていること、また、同じように会員も高齢化してきている。 □コロナ禍で会員徴集も含め、活動が制限されている部分がある。
27	児玉町文化会館(セルディ)において(ロビー)で入会の募集をしておりますが、一部の方にしか伝わっていません。市の広報やネットワーク利用を広げてやってもらいたいと思います。
28	必要としている家庭への伝え方です。
29	そば打ちの出前実演をすることにしてはいるが、コロナのためか、依頼がない。今は年2回の公民館主催のそば打教室のみ。
30	-
31	-
32	□活動の財源は現在は確保しているが、今後も安定して確保できるかの不安がある。 □活動する人材がより多くなれば、活動の拠点や内容をより充実させることができと思うが、中々人材の確保が難しい。
33	ろう者、手話を頑張って教えるけど覚える楽しさや、興味を持った人が増えた。でも難しくてすぐ忘れたり減ってしまう。増やす方法は…考え中。
34	活動する人達の勉強する機会。サロンを運営するにはコミュニケーション能力や色々な知識を持っていないとトラブルになる可能性もあり、その辺の所は十分注意して運営しています。
35	コロナ状況で老人ホームへの訪問ができなくなり、リモートセラピー実施に向け動き始めています。社協さんが早めにリモート活動に取り組みを考えてほしかったです。深谷社協は2回イベントをやってくれています。
36	広報活動をする際、本庄経済新聞の方が対応してくれないので中々情報発信ができません。もっと地域の活動に協力的な方をお願いしたいです。
37	団員の高齢化と、奉仕団員の一員としての自覚が心配。(コロナ禍の中で活動ができなかったため。)
38	現会員の高齢化問題。

No.	回答
39	<p>会の存続そのものが危ぶまれる状況になってしまったこと。本来は、ボランティア団体であるから、本庄市更女のように篤志家を中心に会員構成されるのが筋との理解はしている。しかし、児玉地区においてはそれが叶わず、やむなく民生委員に依頼して発足し、現在に至ると聞いている。数年前に規約の一部を改正したが、民生委員の加入なくして児玉地区の更女会は成立しない。自らも更女会員であり、それを十分に承知しているにも拘わらず、今回の改選にあたって某民児協会長が、□「第1回定例会終了後に、更女会長が入会依頼に行きたい。」との申し出を制止。□「民生委員に更女入会を勧めないで。」と強要。□女性民生・児童委員を集めて更女入会を妨害する発言(行政も承知しているとのこと)をした。</p>
40	<p>現在の課題はやはり会員の高齢化と若い人材の確保の難しさです。加えて、会発足から43年、長年使用しているデジター図書という特殊な機材の製造中止が決まっていて、今後はパソコン等デジタル機器の使用に換えていきますが、パソコン等の機器に不慣れな一部会員にとりましては、従来の機材を大切に扱い寿命を延ばしていく必要があります。</p>
41	-
42	<p>活動に必要な資金の獲得を補助金や助成金、協賛金なども含めて確保したいと考えているが、現状では満足に行えていない。また、活動に必要な拠点、設備、道具などについても不足している状態であるため、これらについての整備も今後、行っていく必要があると感じている。様々な面で行政や企業等からご支援いただけるとありがたい。</p>
43	<p>□財源確保。市外からくるボランティア活動に参加する学生も多いが、お金がない学生も多いため、交通費などは支給したいがその財源を確保することも難しい。また、当団体は1日を通して子どもとレクリエーションを行う事業が多く、実施日にはレクリエーション保険の加入や昼食代も確保する必要がある。</p> <p>□学生団体のため、入れ替わりのサイクルが早い。そのため世代交代を行う際も中核を担う人材の確保や育成が難しい。</p>
44	<p>自然とのふれあいを多くするための課題解決について。本庄市は、植物園、動物園、昆虫館等の施設がありません。自然豊かな本庄市としてうたっていますが、子ども達が自然に興味を持ち関わっている状況ではありません。環境を整える一例として、総合公園の樹木の名前と樹木の説明を書いたプレートを付けてもらいたい。家族で公園に来た時、家族で学習することができます。このことが家族とのコミュニケーションが生まれ良き人間関係を構築することができると思います。また、本庄市で見られる、野鳥の掲示板、魚の掲示板、昆虫の掲示板等の設置を希望します。</p>
45	<p>□住民相互の支え合い機能を高めていく。</p> <p>□公的支援と協働して、地域の課題の解決を試みる体制を整備する必要がある。</p> <p>□包括的相談支援体制の整備。</p>
46	<p>共に活動する新たな人材が不足しています。新型コロナウイルスの影響により、当事者(聴覚障害者)との交流を通して手話を学ぶ機会が激減したことが大きなきっかけだったと思います。活動に意欲を持つ将来の担い手を一人でも多く増やすことが課題です。</p>
47	<p>施設等に行けなくなりました。</p>

No.	回答
48	<p>組織が大きいので年に何度か県全体市町村の会長、支部長が集まる機会があります。どこの市町村も構成員の高齢化の話が出ます。若手リーダー研修会も 20 年前は 40 代参加のようでしたが、今は 60 歳まで(?)と引き上げています。それでもボチボチ入会してくださる方もいるので、今以上の活動は中々できませんが継続していきたいと思います。</p>

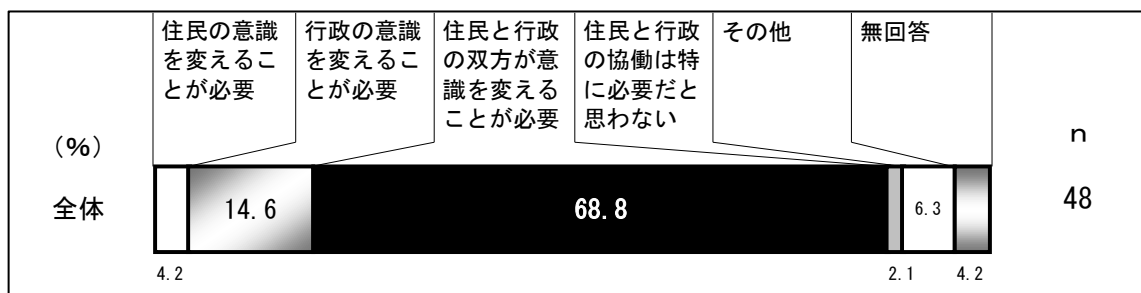
3 協働について

(1) 住民と行政の協働意識

問7 住民と行政の協働意識に対する考え方として最も近いものは以下のうちどれですか。

住民と行政の協働意識については、「住民と行政の双方が意識を変えることが必要」が68.8%、「行政の意識を変えることが必要」が14.6%、「住民の意識を変えることが必要」が4.2%、「住民と行政の協働は特に必要だと思わない」が2.1%、「その他」が6.3%となっている。

図表 住民と行政の協働意識（全体）



図表 自由回答（その他）

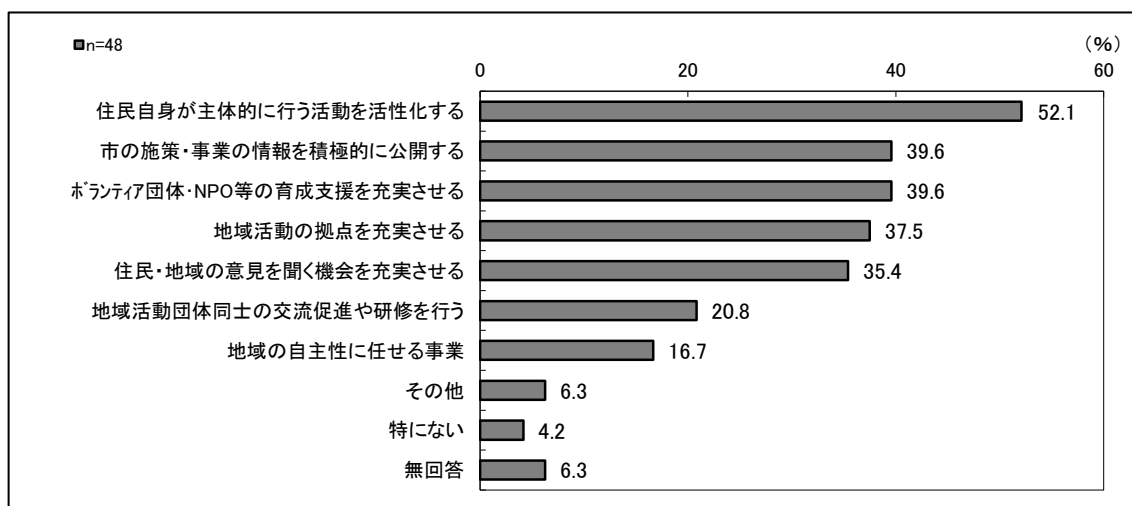
- 意識を変えるとは？よくわかりません。
- (社協)行政を通し広める。

(2) 住民と行政の協働に必要なこと

問8 住民と行政が協働するためには何が必要ですか。【複数回答】

住民と行政の協働に必要なことは、「住民自身が主体的に行う活動を活性化する」(52.1%) が最も多く、次いで「市の施策・事業の情報を積極的に公開する」・「ボランティア団体・NPO等の育成支援を充実させる」(同率 39.6%)、「地域活動の拠点を充実させる」(37.5%)、「住民・地域の意見を聞く機会を充実させる」(35.4%)、「地域活動団体同士の交流促進や研修を行う」(20.8%)、「地域の自主性に任せる事業」(16.7%)、「その他」(6.3%) となっている。なお、「特にない」は 4.2%となっている。

図表 住民と行政の協働に必要なこと（全体／複数回答）



図表 自由回答（その他）

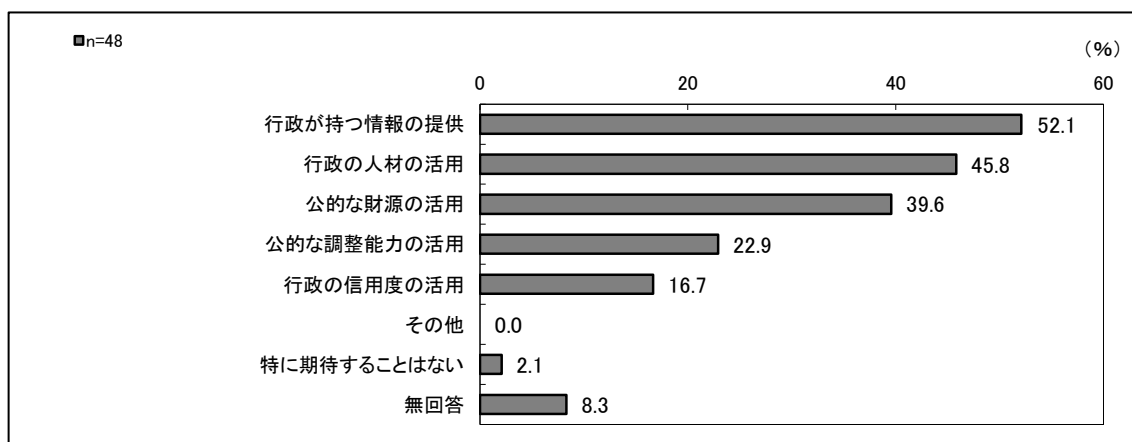
- 街づくりの目標を明確にする。
- ボランティアイベントの情報発信スペースを、分野別に分けて公的施設でしてほしい。市役所の市民ホールにもスペースをつくってほしい。
- 協働ではなく支援が必要。

(3) 協働において行政に期待する役割

問9 あなた（貴団体）が行政と協働する上で、行政が担う役割としてどのようなことを期待しますか。【複数回答可】

協働において行政に期待する役割は、「行政が持つ情報の提供」（52.1％）が最も多く、次いで「行政の人材の活用」（45.8％）、「公的な財源の活用」（39.6％）、「公的な調整能力の活用」（22.9％）、「行政の信用度の活用」（16.7％）、「その他」（0.0％）となっている。なお、「特に期待することはない」は2.1％となっている。

図表 協働において行政に期待する役割（全体／複数回答）

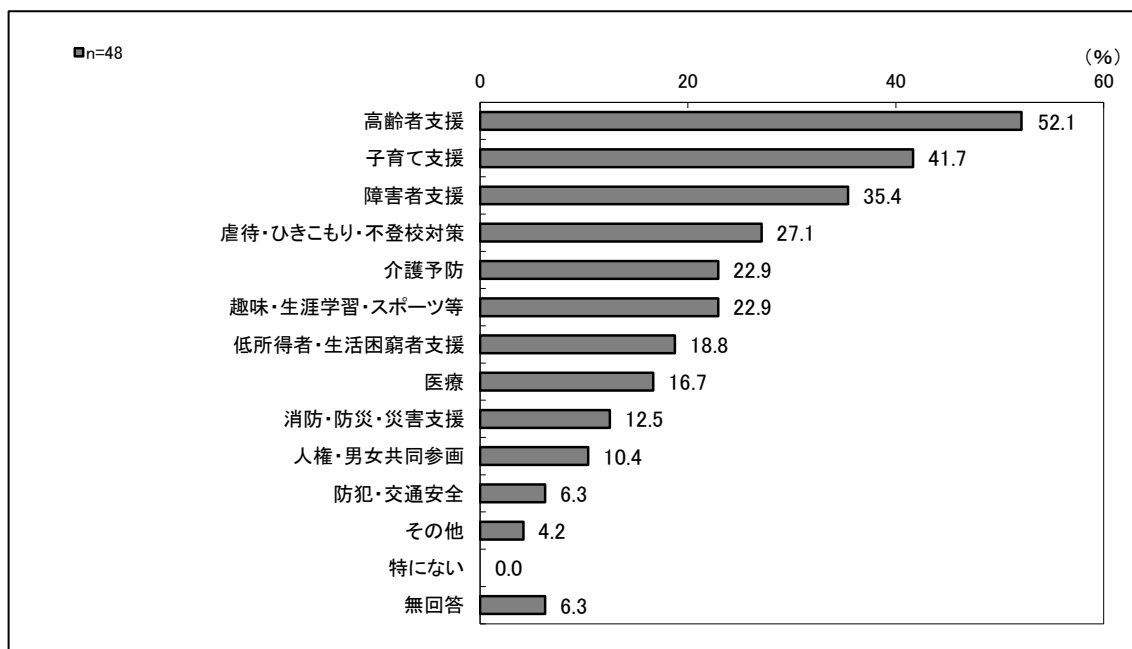


(4) 市が力を入れるべき取り組み

問 10 あなた（貴団体）が、福祉のまちづくりに向けて市が力を入れるべきと感じる取り組みは、次のうちどれですか。【複数回答】

市が力を入れるべき取り組みは、「高齢者支援」(52.1%)が最も多く、次いで「子育て支援」(41.7%)、「障害者支援」(35.4%)、「虐待・ひきこもり・不登校対策」(27.1%)、「介護予防」(22.9%)、「趣味・生涯学習・スポーツ等」(22.9%)、「低所得者・生活困窮者支援」(18.8%)、「医療」(16.7%)、「消防・防災・災害支援」(12.5%)、「人権・男女共同参画」(10.4%)、「防犯・交通安全」(6.3%)、「その他」(4.2%)となっている。なお、「特にない」は回答なしとなっている。

図表 市が力を入れるべき取り組み（全体／複数回答）



図表 自由回答（その他）

- 教育。
- 地方創生。

(5) 自由意見

問 11 福祉のまちづくりに向けて、何か御意見がございましたら御自由にお書きください。

寄せられた回答は以下のとおり。

図表 自由意見

No.	回答
1	何ごとも前向きに進んで行くことです。
2	-
3	-
4	今迄ボランティアで何回か経験した中では、各地域では多彩な取り組みをされていて感心しています。活動が不十分と思われる地域もあるようです。
5	-
6	新型コロナが終息しませんと。以前(3年前)のような活動ができません。今年は終息しましたらまた、活動すみやかに再開して、介護施設、各自治会のサロン等でライブを行いたいと思っています。
7	もっともっと活動事業をアピールしてください。よろしくお願い致します。
8	「福祉のまちづくり」何をなすべきか。地域活動はどんなふうに活動しているのか。情報発信が大切であると思う。また、市民の意識を向けることも重要です。そこが一番難しい所で課題であると思います。
9	通常は東公民館で活動しているが、要請を受けて高齢者や婦人等の地域団体、学校、障害者施設病院等で教室を行っている。正式には、バドミントンダブルスコートほどのスペースが必要だが、大概はそれより狭いスペースにコートを手作りしなければならない。ボッチャに限らず障害者が気軽に行き楽しめるスポーツ施設があればと思う。
10	-
11	-
12	親が安心して働ける、子どものサポートを充実してほしい。
13	□介護している方に行政より何かコミュニケーションができると良いです。
14	目の前のことを一生懸命成すだけです。この事業が続くように考えています。今は特に子どもの貧困、高齢者の居場所づくりを中心に事業を進めたいと願います。
15	-
16	行政等に依る講座、講習などがあるがその後の活用ができていないと思う。
17	豊かな自然、公園も充実、児童センターもあり、子どもを育てる環境はかなり、良くなっているように感じます。高齢者に対しては、前にも書きましたが、足の確保が重要です。家族が近くにいない方には、なおさらです。タクシー無料券の配布も検討してほしい。また、外に出ている方は良いですが、初めの一歩が踏み出せない方(特に男性)も、多いようです。1回出しまえれば、大丈夫なのでしょうが。そのきっかけをどうにかしてつくれたら、高齢者が楽しく、いきいきと過ごせるようになると思います。情報発信、声がけ等、小さなことでも継続することで、変わっていくのではないのでしょうか。
18	活動団体同志の交流のため！行政が持つ情報の提供・企画を依頼したい。
19	-

No.	回答
20	お年寄りに寄り添う場所が少ない。子ども達には児童センターなどが、地区間にありますが。お年寄りには自治会館などで、月何回と決め、お話し軽いスポーツなどです。何時でも寄れる場所が欲しいと近ごろ、話が出ているのも本当です。お年寄り向きの集合場所が欲しい。よろしくお願い申し上げます。
21	-
22	私達の活動の中で、本当に自発的になおかつ楽しく行動を共にしている人たちがいます。20年活動してきて、そういう人たちに会えることが楽しみであり励みとなりました。きちんとした理論や考え方も必要ですが、人と人とのかわりあい、感じ方、感じさせ方も大切です。福祉のまちづくりに向けて、自ずと理解し行動できる人を生み、育む環境づくりや教育が重要だと思っています。人との出会いが活動の力となっています。
23	-
24	-
25	高齢とか、子ども育児とかでなく、全年齢向け方針と、年齢も含めた、できること、したいこと分類の方針があっても良いのではと思います。若くても、高齢でも希望も体力も個人差の大きな社会だと思います。寝たきりでもIT機材を活用して、意志を発信する人もいますし、逆に問題なさそうに見えても動けない人もいます。精神・保険・福祉の専門者や、カウンセリングなどの充実が地域で活用されたいと思います。民生委員だけでなく、困っている人だけでなく、色々なコミュニケーションの組織が身近にあればと思います。民間でも行政でもどちらにも専門知識プラス情熱と夢があったらと。
26	今回の目的である「本庄市地域福祉計画」「本庄市地域福祉活動計画」の一体的な策定に大いに期待しています。
27	-
28	こども食堂かるがもはスタートしてまだ6か月ですから、継続し少しずつ広まることを希望しながら頑張ります。地域の皆さんに野菜・お米の協力で本当に感謝しています。その他私はアルミ缶を集め収入源としてお肉・お魚の購入に使っています。来てくれた方はみんな笑顔になり、やりがいになりますね。
29	-
30	市の福祉施策を色々な団体、グループに知らせるべく手前講座のようなことをする。情報をきめ細かく市民に届ける。
31	-
32	「福祉～教育～医療」が連携していこうという理念がかかげられて長い年月が過ぎたと思うが、どれくらい変化したのかと思う時があります。より進めていくために、専門家、専門職の方がその専門性を生かして活躍できることが大切だと思います。一方で市民が楽しく集まれる場所がたくさんあるといいと思います。また、市民の中には意見や要望などをうまく言えない人や、弱い立場の人がいると思うので、そういう人が大変な勇気を出して言った一言をきちんと受け取れる者でありたいと思うし、まちづくりにたずさわる多くの人がそう思ってくれるとうれしいです。
33	公共施設Pについて。 <input type="checkbox"/> 障害専門なのに止める人もいますが、専門カードなどの提示が必要であれば良いのではないかと？ <input type="checkbox"/> 建物、玄関横、窓際などへの駐車は危険なので避けてほしい。駅前の空いているので誘導をお願いしたい。

No.	回答
34	行政のサポートより住民同士の連携が大切だと思います。困った時に助け合う、足りない力をみんなで協力して出し合う、サロンをしていて皆さんからアイデアをたくさんもらいます。年寄りだけ、子育てママさんだけというタテ割でなく、皆さんで情報を共有していくことが大切だと思っています。
35	コロナ状況でも、今できることを考えていく必要があると思います。今までできたことができなくなっていることに対し、意見を出しても、新しいことを取り入れたりしてもらえず3年が経ちます。3年の中でボランティア団体が減少していると思います。
36	支援が必要な人達はたくさんいます。ただ、どこの NPO 法人も財源や人材不足です。市の財源もたくさんあるわけではないので、支援には限りがあり地域経済を活性化させ外貨を獲得することが最優先だと思います。移住者を増やしたり、若者の働ける場所を増やすため、市と連携し観光地になる場所やまちづくりも必要だと思いました。就労施設をつくりたいのですが、色々教えていただきたいです。
37	まちは一人ひとりの構成で成り立っています。その一人ひとりとは皆違います。赤ちゃんからお年寄りまで年代も違います。経済格差、病気、介護、障害のある人など置かれている立場も違います。皆が、居心地の良いまちだと感じるのは、人々のぬくもりだと思います。他人に対する思いやり、手を差し伸べようとする人達が多い程、まちは豊かで元気になります。そういったまちの風土ができれば、どんな政策よりも素晴らしいことだと思います。人を育てることが、まちづくりの目指すことだと感じます。
38	SNS を活用して、テーマを決めて、福祉のまちづくりの意見を聞くのはいかがですか。
39	-
40	(別添3枚ご参照。)地域支援ボランティアに登録していますが、コーディネートする方が不足しているようで、実際の活動依頼は1回受けただけです。困っていることがあってもどこに相談すれば良いか、知らない方も多く居られるように感じます。先日裏の家の方が、庭木が伸びちゃって切りたいけど、とのことだったので、フェンス越しにカットのお手伝いをしました。ささいなことですが喜んでもらえました。児童については「こども食堂」や「子どもの居場所の充実のために、ボランティア参加を呼びかけ、さらに輪を広げてほしいと思います。高齢者においては、「ふれあいサロン」を行っている自治会もありますが、私が住んでいる自治会では、ストレッチを行っていると聞いています。一人でも多くの方々が安心して参加できるよう、工夫をしながら、健康で楽しいサロンの運営を希望しています。視覚障害者のために点字ブロックの充実をお願いしたいと思います。

No.	回答
41	<p>高齢者のケアラーに関しては、色々な機関や団体と協働して行っていけたらと思います。ケアラーの中のヤングケアラーや若者ケアラーに対しては、深谷市では既に全公立中 学校生を対象に昨年末に調査が行われております。本庄市でも早急に調査をしてヤング ケアラーの早期発見と対応をしてほしいと思います。障害者をケアしている方へのカフェ は既に始まっている所もありますが、私達の会々員はケアマネをはじめ理学療法士や看 護師、介護の資格を持った会員に、アロマセラピー資格や障害者施設で働いていた人も 入りましたので、障害児者をケアしているご家族対象に、アロマセラピーを使って毎月1 回からカフェを開催すべく準備を進めております。認知症に関しては市として活発に事業 を行っていますし、介護予防も、色々な形でされていることは知っております。認知症に 関しては認知症施策推進大綱に共生と予防への取り組みがあります。認知症になるのを 少しでも遅らせるための早期発見・早期対応(MCI やそれ以前の SCD)への取り組みも 考えてください。誰もが気軽に集まり、おしゃべりのできる場として空き家の利用や、郊 外に住む高齢者が近くに店もなく、免許返納したいが通院や買い物に困るので返納でき ないとよく聞きます。こんな人たちのために、現在ある移動手段のほかにドア to ドアの 移動も含めた検討をしていただきたい。</p>
42	<p>本庄市の住民、行政はほかの自治体と比べて活発に活動を行っていると感じた。住民 と行政との対話の機会もいくつかあると感じることもある。しかし、それだけ活発である がゆえにまだまだ支援や交流などが足りなく、もったいないと感じることも多々ある。今 後、より支援策や対話・交流の機会が拡充されることを期待する。</p>

No.	回答
43	<p>□福祉とはずれてしまうかもしれませんが、今の子どもは習い事をしている子が多く、自治会等のコミュニティよりも習い事などのコミュニティの方が強い傾向にあると思います。昔のコミュニティは、自治会やPTAでのつながりが多かったと思いますが、今の時代、それが面倒だということもあり、不要と考える人が多いと思います。その面倒と思う背景には、高齢者世代と子育て世代のジェネレーションギャップが大きいと感じます。その結果が今の子どもへの家庭教育にもつながり、地域社会の希薄化という負のスパイラルを招いているのではないのでしょうか。□ただ、その反面、地域の高齢者の方々が、朝の旗振りをしていることも子ども達は知っていて、感謝していることも多いと思います。また、高齢者の方々が子どもに昔遊びなどを行うと喜んでいて子どもも多いです。子どもの頃は感謝の気持ちを持っていたのに、大人になると、自分の生活で一杯になってしまい、地域活動に対する意識も薄れていく方が多いのでしょうか。</p> <p>□ボランティアをやってくれている方の中には、「私達がやっているのに保護者は何もしないのか」という考えを持つ方も少なからず存在します。また、承認欲求が強い方も多いのではないのでしょうか。</p> <p>□この負のスパイラルを脱出するためにも、子どもの社会教育への参画が必要で、その際、保護者の負担を軽減して子どもが参加できる仕組みが必要だと感じます。具体的には、長時間子どもが参加できる内容にする。理由としては、共働きや片親などの世帯が多い現代において、参加させたいイベントがあっても2、3時間の事業だと送迎する時間がない等があるからです。</p> <p>□以上を踏まえ、これから10年20年後を見据えた上で、子どもに対する教育環境が必要で、恩返しをする考えでなく、恩を次世代に送る、恩送りの考え方が福祉のまちづくりにつながると思っています。</p> <p>□(問9の協働する上での行政の役割。ですが)そもそも協働となると、行政がまずはやってくれると考えてしまう方が多いと思います。まちづくりにおいて大切なことは、持続性だと思います。そのためには、市民がまずは動き、立ち上げて活動を開始する。行政の役割は、立ち上げや運営の相談程度にしておかないと、人員不足により今後の対応が難しくなっていくのではないのでしょうか。</p>
44	-
45	<p>我が国では、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まっています。暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、これを構築することで、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしく生活を送ることができるような社会としていくことが求められている。とあります。是非とも「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが必要です。そのためには、とことん検討する場を設けることが大切だと思います。</p>

No.	回答
46	<p>平成 30 年4月に本庄市手話言語条例が施行され、間もなく6年目を迎えます。市が開催するイベントや式典等に手話通訳が付く機会が増え、当事者はもちろん、多くの市民にも手話を目にする機会が増えてきていると感じています。また、本庄ケーブルテレビ放映の新型コロナ感染対策等に関する本庄市長のメッセージには手話通訳が付き、コロナ禍で他者との接触が制限され情報を得ることに困難を抱えた聴覚障害者に対し、正確な情報を提供できたことは、当事者にとって大変心強かったと思います。情報を得ることに障害のある聴覚障害者が災害の有事にも迅速に情報を獲得し、必要な支援や行動が取れるまちづくりを望みます。本庄市には、私達がいまだお会いしたことのない聴覚障害者がたくさんいます。そのような方々も見過ごさず、一人の市民として平等に情報を得て、自分の力で判断する権利を保障していただきたく、よろしくお願いします。</p>
47	-
48	<p>私達の団体は「私達の健康は私達の手で～のぼそう健康寿命 つなごう郷土の食」をスローガンに生涯における健康づくり活動を、食を通して地域において推進しているボランティア組織です。健康は食だけではなく運動も同じくらい大切で、何しろバランスが大切だと思っています。会員も各地区にいますので、自分達の実習、講習だけではなく自分達の周りの方の健康も意識して市民の健康度がアップすればいいなと思います。コロナ禍では中々難しいことですが、興味のある方には色々紹介したいレシピもあります。</p>

